

能登半島地震でかほく市で避難生活されている皆さんへの 支援物資お渡し会に300人



かほく市協賛
担当課長さんも参加



6月23日(日)かほく市七塚健康福祉センターで、能登半島地震により、かほく市に避難生活されているみなさんへの、「支援物資お渡し会」を、かほく市の後援もいただいております。お渡し会には、開始予定時間30分ぐらい前から行列がで始め、開始時間には100人ぐらいの列になりました。約300名の参加となりました。前回にも増してたくさんの方が参加さ

れることを見越し増した支援物資も、30分も足らずですべて渡しきりました。共同支援センターに寄せられた全国からの、お米、お水や、玉ネギ、ジャガイモなどの野菜や、レトルト食品などの食品も、トイレットペーパーや子供さんの紙おむつ、洗剤などの生活雑貨も、大変喜ばれて、お配りできました。

多くの方がアンケート活動にもご協力いただき、高橋成典かほく市議が、みなし仮設などのアパートに入られている被災者の方々の生活相談にのりました。
お渡し会でのアンケートの意見から

- *家の片づけや、これからの生活のことが心配。もつと仮設を作ってほしい。
- *早く家族一緒に住みたい。自宅の公費解体の申し込みの手続きをしたが、その後の土地の処分、税金だけのしかかってくるのではと不安になる。
- *この先家が建てられるか不安、支援が欲しい。
- *今の土地に家を建ててよいのかどうか、今後液化の可能性があるのならば、道路を含めて一体化して対策うってほしい。
- *家を修繕再建するための費用、お金の援助が欲しい。
- *かほく市で永住することを前提に、新築かアパート住まいを考えているが、(当面)震災復興住宅か、公営住宅に入りたい。現在はなかなか出かけることができず、認知症にならないかと心配になる。6市町以外に新築や賃貸で永住するものにも、住宅再建支援金を支給してほしい。
- *かほく市大崎で被災して、市の公営住宅に入っているが、無償期間の1年後には出ざるをえなく、期限を延ばすか、もっと安い公営住

(表面から続き)

に入りたい。

*かほく市宇気で被災された方は、被災者がお金の心配や負担がなく、もとの生活に戻れるようにしてほしい。

*震災がきっかけで、一人暮らしになった私の様な被災者にも支援をして下さり、とても嬉しい(20代)。

*早く仮設住宅に入りたい。公費解体後の、将来の展望を示してほしい。年金生活で収入が少なくなり、金銭的に不安。一回の義援金でなく、毎月少しの生活支援をしてほしい。

*復興の見通しが立てれない、何年かかるのかと不安
*いろいろの問題が申請したのになかなか進んでいない理由がわからない。ほどほど精神的にまいっている。
被災地へ行かなくても、避難先でいろんな申請がなぜできないのかわからない。
*高齢の親の入所ができない、どこも開いていないところで、介護する側も日々大変な中、どちらも体調を崩さないかと先がネガティブ

感大。親の介護があり自由にならないこと、片付けどころではなく、家を修理してもまた地震で傾かないか、つぶれないかと心配。復旧が進んでいない、珠洲は離れ島みたいな感じがする、人が減って、働く場所もない。

*安心して生活できる場所と環境が欲しい。この先のことはまだ考えられないです。生活の拠点も決めきれいていない。1年後、2年後、3年後この先々の展望を示してほしい。

*いつ珠洲市に帰れるか不安。

*欲しいものは、食料、夏用の下着。今後の生活がどうなるのか不安。隅々まで目が届くような支援をお願いします。

*住宅ローンの支払いが心配。

*洗剤などの生活必需品がほしい。両親が岐阜で入院中なので、離れており心配
*創造的復興の理念より、具体的な内容の復興をしてください。

*家を再建するための支援が欲しい。両親の仮設住宅

が狭すぎて、4畳半に二人で住んでいる。困っている方がたくさんいる。2年間暮らす部屋なので、もっと考えてほしい。ほぼ毎週両親の仮設へ買い出しに行っている。仮設住宅の駐車場がなく、そのたびに苦労している。なんとかならないか。

*生活資金がいつまで続くかわからない、将来に不安になる。

●市営住宅に入居の方

*年金だけなのに、家の修理にお金がかかる。一部半壊でも支援をしてほしい

*自宅と実家のダブル被災で、もう疲れた。

*家の傾きがひどく、上下水道の工事に入れない中、町内の仮設トイレが撤去された。被災住宅の片づけで頻繁に自宅に行くが、トイレが使えず非常に困っている。宅内配管の損傷具合の調査もない状態で、この県・自治体の対応には疑問を感じる。

*自費解体についての情報がない、どのくらいの出費になるのか。その後の住まい修繕するのにどのくらい

かかるか、知りたい。

●知人宅、親せき宅の方

*長期的な支援、減税、家を失いこれからの生活に不安があるのに、ニュースでは能登半島の復興ばかりが目につく。液状化した土地にもう一度家を建てるのは予算的に負担が大きく、修理に不安がある。今後その土地に住もうにもその土地

に住めないとしたら、土地を売却もできず、ただ持っているだけで、維持管理がどうなるのか、行政の方針を示してほしい。

*いつになったら珠洲市に帰れるのか、ライフラインの復旧がいつになるのか展望を示してほしい。
などの多様で、切実な意見がアンケートで寄せられました。

